

筋力トレーニングの“見える化”を実現した

バイオフィードバック 骨盤底筋強化システム

わかりやすく

より効果的に



ジムやクリニック、整骨院に最適

【施設向けモデル】

HnJ 10000

骨盤底筋

ペリネ・エクササイズを より分かりやすく効果的に！

感覚では理解しにくい筋肉の状態を視覚的にフィードバックしながらトレーニングすることで自律的にコントロールできるようになります

※写真はイメージです



腹圧ベルト付属の**高機能モデル**。
トレーニング中の**腹圧の計測**が可能です。

PCと接続して モニターでフィードバック

トレーニング中にPCの画面を見ながら簡単操作。症状に応じて、骨盤底筋の『強化』と『弛緩』、2つのトレーニングプログラムが選べます。



挿入不要、 服を着たままでOK!

従来のバイオフィードバック機器は挿入する必要がありましたが、デバイスを挿入しないため着衣のままトレーニング可能。産後もすぐにケアを開始できます。椅子と一体になったユニットタイプで、ジムやフィットネスクラブ、整骨院、各種クリニック等、施設の導入に最適な高機能モデルです。



パソコンと連動させる先進的なバイオフィードバック技術により、はじめての方にも分かりやすく、効率的に骨盤底筋の強化を図ることができます。

[腹圧計測機能搭載 / 施設向けモデル]

HnJ1000

- バイオフィードバック技術による骨盤底筋強化システム
- 椅子と一体のユニットタイプ
- 腹圧計測機能搭載（腹圧ベルト標準装備）
- 2つのトレーニングプログラム
 - ① 骨盤底筋強化プログラム → 尿失禁対応
 - ② 骨盤底筋弛緩プログラム → 便秘対応
- フィットネスクラブやジム、産後ケア・泌尿器科・整形外科リハビリの各クリニック、整骨院等の施設に最適

腹圧と骨盤底筋の関係は？

体幹トレーニングで最も重要とされている腹圧。実は腹圧は、尿漏れや子宮臓器脱のリスクファクター（危険因子）といわれています。腹圧が大きく上昇すると骨盤底筋の筋力が上昇せず、骨盤底筋を押し下げてしまうリスクがあるからです。骨盤底筋は外から見えない筋肉だけに、その強化は専門家の指導の下で行うことが肝要ですが、HnJ1000に搭載されている「トレーニング中の腹圧の可視化」は、指導者が、トレーニングの矯正・修正を図る上でも大きなアドバンテージになる機能といえます。トレーニングは正しく実施してこそ効果が得られるもの。誤ったトレーニングは却って症状を悪化させる危険性がありますので注意が必要です。

■ HnJ1000 製品仕様

本体（椅子一体型） 【付属品】 AC アダプター付き電源ケーブル PC 接続ケーブル 腹圧センサーケーブル CD-R OM（ソフトウェア）	入力電源 : DC 12V 、 5 A 消費電力 : Max 60W 、 強度の測定範囲 : 0~25 kg f 、 寸法 : 480x500x680mm (W-D-H) 重量 : 27k g
操作環境	温度 : 10℃~40℃ 湿度 : 0%~75%R H
輸送および保管条件	温度 : 0℃~40℃ 湿度 : 0%~75%R H 空気圧 : 700~1060 ミリバール
※対応 OS ※オペレーティングコンピューター（別売り）	Windows 7 以上対応。Mac 非対応。 ディスプレイは 22 インチを推奨。

【製造元】



FURUN HEALTH CARE Co.,Ltd.

(Gangwon-Technopark),206,130-2,Donghwagongdan-ro,Munmak-eup,Wonju-si,Kangwon do,Korea
 www.furunmedical.com | jaykim@furunmedical.com



株式会社ウエルアップ

〒220-0004
 横浜市西区北幸 2-1-22 ナガオカビル 4F
 TEL : 045-317-7908 / FAX : 045-317-7909
 URL : https://wellup.jp

【お問合せ先】